

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社シーサポート

②事業者情報

|        |                                  |           |              |
|--------|----------------------------------|-----------|--------------|
| 名称：    | たじま絆保育園                          | 種別：       | 保育所          |
| 代表者氏名： | 川名美雄                             | 定員(利用人数)： | 90 名         |
| 所在地：   | 〒 338-0837<br>埼玉県さいたま市桜区田島3-13-4 | TEL       | 048-711-5697 |

③評価実施期間

令和2年4月1日（契約日）～令和2年8月24日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

①「子ども第一主義」は考えられた施策と裏打ちされた論理により実現しています

子ども第一主義のもと、その方針に必要なものには費用と労力をかけ、そうでないものについては省いていくことが徹底されています。子どもの成長に対する要望への配慮、少人数担当制、職員の裁量を重視した現場主義、家庭と連携した保育等々計画を実践保育に落とし込む数々の考えられた施策と裏打ちされた論理により「子ども第一主義」が実現しています。

②子どもが笑顔でいられる環境を維持し、子どもの身体能力向上・選択を大事にした保育がなされています

子どもが笑顔でいられる環境を維持することを最大の目標としており、職員研修による環境分析、玩具の補充、雨の日でも子どもたちが楽しめるようボルダリングの設置、可動式のロッカーと厚い職員配置による安全の確保、コーナーの常設等々環境整備に注力がなされています。子どもたちの意思と選択を大事にしていることは、園内・園庭を見るだけで一目で理解することができます。

③情報発信により協力を募り、労力をかけ「園のまとまり」を醸成しています

保育理念にとどまらず、運営・子どもの存在そのもの・事業所が配慮していることについて明示がなされています。周知というよりは、「情報発信により協力を募る」という姿勢で行われており、行動力・アイデア・子どもたちへの思いが職員・保護者の心をつかんでいます。「ICTを活用した保護者への発信」、「保護者アンケート結果の分析と保育への反映」、「園と職員の考えの溝を埋めるための定期職員面談の実施」、「職員の自主性と責任による参画」、「抱える課題についての園内研修実施」は他の施設の範となる取り組みであり、その尽力は事業計画中の課題の変遷に見ることができます。

◇特にコメントを要する点

「法人・園・職員個々」の強み・弱みを分析し、それぞれの強みを活かす方針により進められています。客観的データの活用・専門家の意見の取り入れなど「思いと思い込み」を分けて考えるビジネスセンスにより本評価を通じても下記が課題として抽出されています。

- 保護者の保育士参加への促しとアプローチ方法の検討
- 近隣小学校とのさらなる交流機会の創設
- 行った感染症対策に関するマニュアルへの加筆
- 玩具のさらなる購入による子ども一人ひとりにあわせた遊びの実現
- 延長保育時間に関するニーズの把握と検証

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

運営開始4年目になり、今回初めて第三者評価を受審しました。評価者から当園の取り組みを評価していただくとともに改善点のご助言も頂きました。今後、職員とのフィードバック研修で改善点を共有します。

最後に、保護者の皆さん・職員の皆さんご協力ありがとうございました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり